

後期高齢者医療制度での  
平成28年 1 月からの番号利用開始後の業務の流れ（予定）

## 後期高齢者医療制度での平成28年1月からの番号利用開始後の業務の流れ(予定)

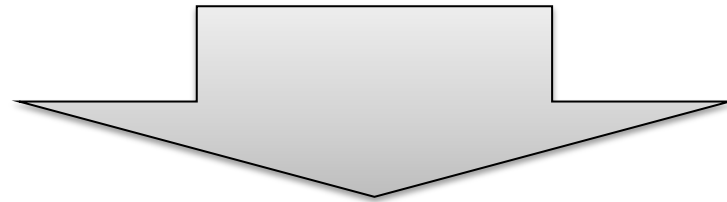
- 後期高齢者医療の被保険者等が後期高齢者医療広域連合(市町村窓口)へ被保険者の個人番号を記入した申請書等(※)を提出

※12申請書等

: 高確法施行規則で個人番号を記載する規定があり、且つ、システムで帳票が打ち出されるもの

: 高確法施行規則で個人番号を記載する規定があるが、システムで帳票が打ち出されないもの

|                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 後期高齢者医療基準収入額適用申請書             | 後期高齢者医療限度額適用・標準負担額限度額認定申請書 |
| 後期高齢者医療障害認定申請書及び資格取得(変更・喪失)届書 | 後期高齢者医療特定疾病認定申請書           |
| 後期高齢者医療療養費支給申請書               | 後期高齢者医療再交付申請書              |
| 後期高齢者医療高額療養費支給申請書             | 後期高齢者医療食事療養費差額申請書          |
| 高額介護合算療養費等支給申請書兼自己負担額証明書交付申請書 | 特別の事情に関する届出                |
| 病院等に入院、入所又は入居中の者に関する届出        | 原爆一般疾病医療費の支給等に関する届出        |



- 後期高齢者医療広域連合(市町村窓口)で被保険者等から、上記の12申請書等の提出があり被保険者の個人番号の提供を受けた場合においても、身分証明書等により本人確認を行う。